

ウムチョ ムゥイーザ通信 No. 19

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

「平成 20 年度総会」報告

理事長 高橋啓子

本会の平成 20 年度総会を迎えられましたことに感謝し、ご挨拶申し上げます。

平成 13 年 8 月 6 日に NPO 法人として認可された本会は、この度、7 回目の総会を開催することができました。（議題：役員改選等）この間、本会の趣旨をご理解、ご支援賜っている 117 名の正会員 62 名の賛助会員の皆様を始め、多くの方々のご支援によって、総会を迎えることが出来まして、厚く御礼を申し上げます。



学園の子どもが描いた校舎全景

皆様の支援がなければ今のウムチョムゥイーザ学園はなかったに違いありません。2007 年には 18 名の卒業生を初めて送り出すことが出来ました。さらに、中学校に入学するための国家試験を受け、18 名全員がその国家試験に合格することが出来ましたことを皆でお祝いしたいと思います。



ご承知のように、皆様のご支援により 1 年に 2 教室ずつ建設することが出来、2007 年度には中学校のための教室を 2 教室建設することが出来、現在 15 教室までになりました。夢は中学校さらには高校をつくることでしたが、ルワンダ政府の規則で、小学校と中学校の敷地を別にし、子ども達を受け入れる前に少なくとも 12 教室 2 階建てを完成させてからでないと受け入れられないという方針に変わり、中学校のために建設した 2 教室は、中学校として使用することが出来なくなり、小学校として使用せざるをえなくなりました。

そこで、総会で協議した結果、現地「ADESOC」では総合大学まで建設する夢は叶うと信じてがんばっていただく方針はわかりませんが、本会としては、中学校建設のためには 1,500 万円から 2,000 万円の建設及び運営資金を呼びかけることに無理があると判断することになりました。



「ADESOC」を支援する一つの団体として本会としては、貧しい子ども達に教育を！という思いを幼稚園・小学校運営に責任を持って支援することに全力をつくし、またソーラーシステムが将来軌道に乗りましたら大人の識字教育に教室を利用し、小学校卒業生で貧しくて進学を諦めざるをえない子どもには就学援助という形で、将来まで見守っていききたいという方針を採択することとしました。

1994 年の内戦を体験したルイズさんの熱い思いが、本会の活動となり、日本各地で「命の大切さ」と「教育は平和と発展の鍵！」に賛同していただける輪が広がっていることに感謝し、共に貧困をなくして平和の構築を定着してゆきたいと思います。

これからも、子ども達の夢の実現のためにやれることを末永く続けてゆきたいと思います。ご理解のうえどうぞよろしくお願い申し上げます。

2007年度決算報告

2008年5月18日(日)に総会が、開催されました。

ここに2007年度の決算を報告いたします。

今後とも、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2008年度役員紹介

理事長	高橋 啓子
副理事長	マリールイズ
理事	倉持 睦子
理事	斎藤 照子
理事	遠藤 信子
理事	宍戸 なつ美
理事	大河原 伸
理事	佐藤 俊子
監事	大和田 紋子

〔収入の部〕

項目	金額	備考
事業	4,058,112	講演会 70回・民芸品販売等
会費	705,000	正会員 @5,000×65名
		賛助会員 @10,000×38名
補助金	305,575	ソーラープロジェクト
寄付金	6,856,021	1円から毎月25万円まで支援を続けてくださる皆様の気持ち
雑収入	2,185	貯金利子
繰越金	2,609,185	前年度より繰越
計	14,536,078	

〔支出の部〕

項目	金額	備考
事業	6,767,869	学園への援助・民芸品の仕入れ
管理	4,800,982	家賃・給料手当・通信費等
計	11,568,851	

〔残高〕

2,967,227 円を2008年度へ繰り越します。

新理事紹介

私が最初にルイズさんのお話を聞いたのは、2002年6月7日、三春町「ライスイクの家」でした。ルイズさんの日本語は全く違和感がなく、目を閉じると、そこに冗談好きなおばちゃんがいるようでした。しかし、話の内容は、平和ボケした私にはとてもショックな内容で、戦争の恐怖、不安、目の前で人が殺される現実など、どれほど理解できたか分かりません。そしてもう一つショックを受けたのが、ルワンダを含めアフリカ大陸の歴史も事情もまるで知らなかったことです。

あれから6年。私の大きな変化は、アフリカそしてルワンダに対する関心が高くなったことです。マスコミにルワンダの名が登場するとすぐに耳や目が動き、アフリカの動向も気になります。ルイズさんとの出会いから私の視野は、地球半個分ぐらい広がりました。そして「ルワンダの教育を考える会」の皆さんとの出会いも、ボランティアの本当の意味や喜びそして楽しさを教えてくれました。皆さんも是非イベント等に参加してみてください。楽しいですよ！！

大河原 伸

わが子の中学校PTAの講演会を企画したことが縁でルイズさんとは9年間の付き合いになります。さらに同じ伊達町民として数年間家族ぐるみのお付き合いをさせていただきました。ルイズさんと出会うと不思議と生きていることに感謝したくなります。そして、ルワンダの学園の子ども達の成長が楽しみで末永く見守っていけたらステキなことだと思い、微力ながらお手伝いをさせていただこうと思っています。

佐藤 俊子

NPO法人 ルワンダの教育を考える会 PRESENTS!! 8年間の感謝を込めて.....

ルワンダDAY in ふくしま

山口県から若い二人が、いま、平和を歌う!!

マウンテンマウスコンサート



日時 2008年10月4日(土) 開場 13:30 開演 14:00

場所 郡山市富田西ふれあいセンター〔富田西地域公民館〕(郡山市)

日時 2008年10月5日(日) 開場 13:30 開演 14:00

場所 桜の聖母短期大学マリアンホール(福島市)

「マウンテンマウス」のご紹介

会員 齊藤照子



今年の「ルワンダDAY in ふくしま」は、10月4日(郡山)5日(福島)の2会場で、山口県周防大島出身の兄妹デュオ「マウンテンマウス」を迎えて行われることになりました。2001年7月CDデビュー、山口、広島、岩手、宮城各県を中心に精力的な音楽活動をしておりますが、福島県ではあまり知られておりませんので初デビューのいきさつをご紹介します。

昨年9月29日、NHKのドキュメント番組で、「マウンテンマウス」が瀬戸内海の島で暮らすお年寄りに歌をプレゼントし、島々を歌でつなげようとする活動が全国放送されました。私は、たまたまその番組を見て、二人の素朴であたたかい心に涙がとまらず、その感動を手紙に書いて送ったことが始まりでした。

兄の中谷昌史(マーシー、26歳)さんは、現役の漁師で漁のシーズンは漁を中心に、オフには音楽活動を中心にと両立させており、妹の中谷愛美(まあちゃん、22歳)さんは、コンビニでバイトをしながら音楽活動をしております。二人は、ふるさとの山口県と周防大島をとっても愛していて、「マウンテンマウス」は山口県の山と川の英語読みです。

私は、二人の明るくさわやかで楽しいキャラクターと歌に惹かれ、私の書いた詞にマーシーが曲を作り二人で歌うというコラボレーションで、「手をつなごう」というCDを作ってしまった。電話やメールを通してお互いに共通する思いを知り、ご両親や二人の歌を愛する仲間たちにもお会いしたくて、このゴールデンウィークに初めて周防大島を訪ねました。ライブのステージで一緒に歌ったり、初めての路上ライブを体験したり、3日間一緒に過ごしてみて、小さな子ども達からお年寄りまで、年齢に関係なく多くの人達から愛されている二人の歌の原点がよくわかりました。

「ルワンダDAY in ふくしま」で、明るく楽しく元気でフレッシュなラッキー兄妹デュオ「マウンテンマウス」のライブと一緒に楽しみませんか!

おいに楽しみましょうよ.....



手をつなごう

みんなと手をつなぎ 共に歌おう
肩よせ腕くんで 共に語ろう
生まれた場所はいろいろだけど
みんな一つの星 地球の家族

悲しい時も 嬉しい時も
目と目を見つめて微笑み合おう
東と西と言葉や文化は違うけど
笑顔と笑い声すべての絆

平和を願って
今回作ってみました

作詞 斉藤照子
作曲 中谷昌史

同じ星の仲間 共に生きよう
緑の大地を みんなで守ろう
一人一人の力は小さくても
手と手をつなげば 大きな力

歌え楽しく 歌声合わせ
手と手をつなげば みんな友達

7月例会の案内

日時：7月6日(日)
13:30~
場所：福島市野田町集会所
福島市野田町7-12-6



☆各種振替口座番号のご案内です!☆

会費振込・寄付・募金

郵便振替口座：02290-0-97126
加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会



ソーラー発電…近い将来、教室にソーラー発電機をつけ、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座：02200-2-77634
加入者名：ルワンダ ソーラー発電P

HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。(イベント開催時の半日でもOKです。) よろしくお願ひします。

—編集後記—

ひまわりが空に向かってすくすくと伸びているこの頃です。

人の心が壊れかけて自殺や殺人がマスコミをにぎわしていますが、「無関心」や「孤独」で悩んでいる時に、仲間がいてくれると温かくなります。

次回はルワンダからのお便りを!

ルワンダの教育を考える会



理事長 高橋 啓子
副理事長 カバ`ンガ`マリル`イ`
〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org